

# CA Plex r6

CA Plexは、マルチプラットフォーム対応、モデルベース型高速アプリケーション開発ツールです。設計から、開発、配布および複数の環境にわたるビジネスシステムの保守を支援します。アプリケーションは、あらかじめ構築済みのデザインパターンを使用してWindows開発環境で設計、J2EE、.NET、I5/OSターゲット環境で構築およびテストが可能です。CA Plexは、単一のスキルセットで、サービス指向、WEBベース、クライアント/サーバ、バッチ、キャラクタベース、モバイルといった様々なアプリケーション開発に利用できます。

## 概要

今日のビジネス環境を背景に企業では、顧客サービスの向上、コスト削減、収益の増加、市場投入の迅速化を支援し、競争上の課題に迅速に対応するビジネスアプリケーションを構築する必要に迫られています。CA Plexは、単一の統合環境を提供し、従来および SOAベースの開発ソリューションの双方を可能にします。また、パターンとして知られるビルドブロックを使用することで、複数のプラットフォーム (Windows/.NET、Java/J2EE、IBM System i) に対応する大規模ビジネスアプリケーションの構築および保守を行なう開発チームを支援します。

## 利点

CA Plexは、2つの強力な開発手法、インフォメーションエンジニアリングとオブジェクト指向を組み合わせることにより、既存の開発資源を使用しながら 開発部門が新しいテクノロジーの導入を促進することを支援します。CA Plexは、再利用、継承といった技術を採用したデザインパターンとともに、統合モデリング環境を使用してアプリケーション要件を定義します。1つの設計情報からネイティブコードを生成し、アプリケーションを複数のプラットフォームへ配布、もしくはより新しい SOAベースアーキテクチャを提供することが可能です。

## CA の優位性

CA Plexは、生産性、品質の向上といった継続的な要件を満たしながら、開発者による新たに出現するテクノロジーの活用を可能にします。また、アプリケーションを技術的な仕様よりもビジネス要件に重点を置き、設計することができます。業務担当、技術者両者が理解できる環境を提供することにより、CA Plexは、CAのエンタープライズ ITマネジメント (EITM) 戦略の重要な部分を担い、多くの組織のITへの取り組みを統合、簡略化します。

## CA Plexは、SOAベースと従来型マルチプラットフォームアプリケーション双方の迅速な実現を支援します

中核となるビジネスアプリケーションは、今日の急速に変化する世界において、多くの技術的、もしくは技術以外の課題を伴います。これらのビジネスシステムは、企業の中核となるビジネス戦略を反映できるだけでなく、不可避の変更へ適応できる十分な柔軟性も備えていなければなりません。とは言え、これは難しい課題であり、とりわけ合併、買収、提携によって、複数のプラットフォームにまたがり主要なアプリケーションを統合しなければならない場合には、実現は容易ではありません。1つの共通のプラットフォームが存在しない限り、アプリケーション統合は、依然として課題として残るでしょう。

サービス指向アーキテクチャは、このような要件への対処に役立ちますが、企業が生産性、品質の向上、コスト削減といった継続的な要件を満たしながら、新たに出現するテクノロジーを容易に活用できるかどうかは課題となります。多くは、まったく新しい開発プロジェクトを実施し、既存の開発チームに更なるトレーニングを提供し、更なるリソースを見いだすことが必要となり、それは不十分且つ費用のかかるものになる可能性があります。また、これは IT予算の大部分を急速に使い果たすと考えられます。多くの開発プロジェクトが、技術、予算の両方の点で問題が悪化し、完全または部分的に失敗しています。このような問題に照らしてみると、容認できるレベルの生産性を維持しながら、新しいテクノロジーまたはSOAベースのアーキテクチャを採用するのは、不可能のようにも思われます。

### 主な機能

CA Plexは、操作性の良いGUI 画面デザイナー、プラットフォームへの中立性を保つアクションランゲージエディタ、ダイアグラム、影響分析ツールを備えたWindowsベースのビジュアルIDEを提供します。複数のバージョン、言語、プラットフォームにまたがる設計モデルを格納するためのビルトイン構成管理が付いたマルチデベロッパーリポジトリ、加えて、HTML、GUIクライアント、5250 ホストスクリーン、サーバプログラム、データベースオブジェクトとともに必要とされるネイティブコードの100%を自動的に作成するコードジェネレータを提供します。

統合モデリング環境は、業務担当および技術者双方が容易に理解できる開発手法を提供します。モデル、パターン、ジェネレータの3つの主要要素に焦点をあてたアーキテクチャ型高速アプリケーション開発ツール(ARAD)は、開発生産性向上に寄与します。

**開発生産性の向上促進** CA Plexビジネスオブジェクトまたはパターンのアプリケーションデザインへの組み込みは、ドラッグ&ドロップ操作で簡単に行え、アプリケーションの繰返し要素を再コーディングする必要がなくなります。これにより、時間と費用を大幅に削減することができます。

**テクノロジーの分離** デザインモデルをベースにし、CA Plexは、クライアントコード、サーバコード、データベースオブジェクトなど、アプリケーションで必要とされる全てのネイティブコードを100%生成します。開発者は、C# またはJavaといったプログラミング言語の低レベルの詳細仕様を理解する必要がありません。

**アプリケーション保守の簡素化** CA Plexを使用すると、アプリケーション保守にかかる時間およびコストを大幅に削減できます。適切な変更をモデルに対して行うだけで、アプリケーションをCA Plex環境で再生成し、再配布することができます。

**チーム開発の促進** 複数の開発者が、中心となるリポジトリに保管されるメタデータを使用し、同じプロジェクトで同時に作業することができます。リポジトリは、XMLインポート/エクスポート機能と同様にAPIを介してアクセスすることも可能です。この開かれたリポジトリにより、UMLブリッジやCA Erwin® Data Modeler、CA 2Eのようなツールとのメタデータ交換といったサードパーティによる様々なアドオンを可能にします。

**シンプルなアプリケーション統合** アプリケーション構築において、CA Plexは新規または既存のデータベーススキーマを利用することができます。またCA製品およびサードパーティツールとの統合を可能にする様々なテクノロジーが提供されています。これは、既存の開発プロジェクトの利用、追加機能の提供を支援します。

### 製品の特徴

**モデルベース開発** モデリングにより技術仕様ではなく、ビジネス要件に重点を置いたアプリケーション設計が可能になります。ビジネス要件の変更は、デザインモデルに変更を行うことで容易に反映することができ、後はその変更に影響するアプリケーションの部分の再生成するだけです。

**パターン** ソフトウェアシステムで生じる多くの繰返しの問題を解決するビジネスオブジェクトを提供します。パターンの使用は、ソフトウェア開発工程を改善するための重要な技術として広く認識されています。CA Plexを特徴付けているのは、オブジェクト指向の継承エンジンを介してパターンをコード化し、再利用するその能力です。製品は、ライブラリにグループ化された数百におよぶ事前に設計およびテストされたパターンを含みます。これらのパターンを利用することで、アプリケーションの繰返し要素を再コーディングする必要がなくなります。

**動的継承とカスタマイズ** CA Plexのパターンは、ハードコードされたものではなく、パターンを修正したり、独自のパターンを作成することができます。サードパーティから更に入手することも可能です。パターンへの変更は、デザインモデルを通じて即時に全てのインスタンスに適用されます。

**ネイティブコードジェネレータ** CA Plexの基本構成は、複数のプラットフォームに配布可能なJava、C#、C++、RPG III、RPG IVのためのコードジェネレータを含んでいます。各ジェネレータは、ターゲットプラットフォームに適切な実行フレームワークに依存します。これにより、共通サービスは実行フレームワーク内に実装されるため、必要とされる生成コードの量を削減することができます。

**業界標準データベースサポート** OLE DB、JDBC、ODBC、OCIなどの標準APIを使用し、CA Plexは、Microsoft SQL Server、Oracle、IBM DB2を含む多様なデータベースをサポートします。

**SOAとWEBサービス拡張オプション** Websydian<sup>®</sup>として知られる追加のテクノロジパターンが、サービス指向アプリケーションのためのSOAP/XMLコンポーネント生成のために利用できます。Websydian<sup>®</sup>は、ブラウザ、モバイルデバイスクライアントのためのHTML Webクライアントの生成も可能です。

**ENTERPRISE JAVA BEAN (EJB) サポート** CA Plex EJBオプションは、J2EEプラットフォームのためのEJBコンポーネントのフル生成および配布を可能にします。ビジネスロジックは、様々な環境で実行されている他社のシステムからアクセスすることができます。

**ビルトイン構成管理** バージョニング機能は、リポジトリでアプリケーションに対して行なわれた変更を時間経過とともに追跡することができます。各種のアプリケーション設計情報バリエーションは、各種プラットフォームにわたって保管することができます。

**アプリケーション統合機能** 新規アプリケーション構築において、既存のデータベーススキーマに対するリバースエンジニアリングが可能です。また XMLインポート/エクスポート、.NET/COMコネクタ、COMインポートといったビルトイン機能を使用し、他のCA製品やサードパーティ製ツールと統合することが可能です。また Visual Basic、Java、C++、RPGといった数々のプログラミング言語を使用し、追加のコードを CA Plexアプリケーションデザインに手動で統合することができます。

---

## r6 新機能

Windowsサーバ環境の進化にとまない CA Plex r6は、既存のサポートプラットフォームに加えて .NETアプリケーションの開発をサポートします。

- **C# サーバジェネレータ** CA Plexは、データアクセスのための OLE DBのようなテクノロジーを利用し、.NETプラットフォームのために必要とされるコードを100%生成します。CA Plexがサポートする他のプラットフォームとの高い相互性を、様々な多階層構成にアプリケーションを配布することを可能にする Javaそして System i へのリモートコールを介して提供します。
- **.NET 管理コンソール** 他の全ての CA Plexがサポートするサーバプラットフォーム(図B参照)と相互に作用するように .NETサーバを早く、簡単に構成することができます。.NETと同義であるXMLベースの構成ファイルを単一のユーザインタフェースで管理できます。
- **Visual Studio 2005 サポート** CA Plex .NETランタイムは、Visual Studio 2005でコーディングされたシステムとの統合を容易に行えるよう .NET DataSetを利用します。

**ANTとMSBUILDサポート** CA Plex主流テクノロジーのサポートを促進します。本リリースでは、Java構築用にオープンソースApache ANTツール、.NET用にMicrosoft MSBuildを使用する機能を提供します。これにより拡張性を持つより高レベルのパフォーマンスを提供する単一構築環境が実現されます。

**コードライブラリ** コードライブラリは、Java JARまたは.NETアセンブリDLLファイルを作成/配布するためのモデルベースアプローチを提供します。CA Plexによって自動的に作成される省略時コードライブラリは、単体テストなどに役立ちます。配布用に固有のコードライブラリの実装が可能です。新しいコードライブラリウィザードが生成を自動化します。

**SYSTEM iのサポート** CA Plexは、IBM System i (正式には iSeries, AS/400) サーバのサポートを継続します。新たに長い、大文字小文字が混在するパスワードのサポートが追加されました。CA Plexがサポートする他のプラットフォーム (Java、Windows/.NET) から System i への接続で、この新機能を完全にサポートします。

図 A パネルデザイナー

WYSIWYG パネルデザイナーを使用し、アプリケーションの画面レイアウトをカスタマイズできます。通常デフォルトレイアウトがパターンから自動的に継承されます。CA Plex 開発者が、画面を一から設計する必要は殆どありません。

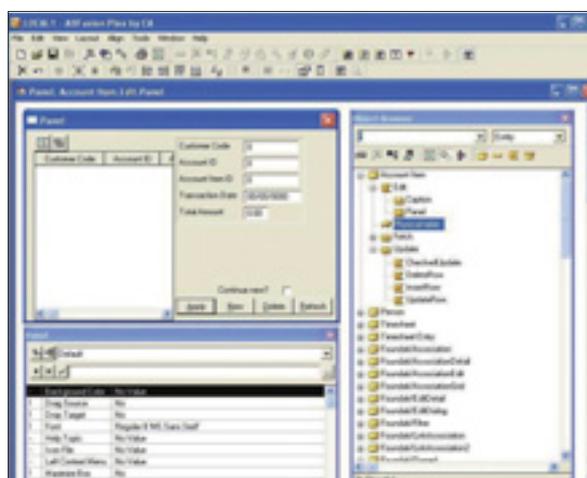
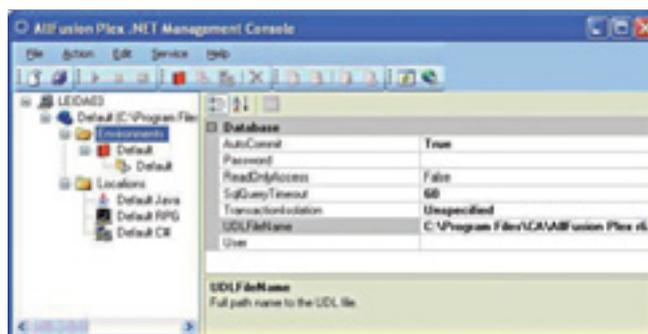


図 B .NET アプリケーション管理コンソール

CA Plex .NET 管理コンソールは、.NET アプリケーションの構成およびモニタリングのプロセスの簡素化を支援します。



すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。  
© 2007 CA. All Rights Reserved.

## 日本CA株式会社

お問い合わせ

〒163-0439 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル  
お問い合わせ窓口：CAジャパン・ダイレクト 0120-702-600  
JapanDirect@ca.com  
WEB サイト：www.ca.com/jp